

# 意識

覚醒

目がさめている、眠そうだったり、ぼーっとしていない

易疲労性

考えることに疲れることなくエネルギーを持続できる

日常生活に問題ない  
程度に覚醒している

覚醒が不十分で  
日常生活に影響する

・終始はっきりと  
目が覚めている  
・考える・話すこ  
とに疲労を示さ  
ず、エネルギーを  
持続できる

5  
良好

・時折ぼんやり  
している  
・新規な場面で  
は反応低下を  
示す

4  
軽度

・終始表情はぼ  
んやりしている  
・考える・話すこ  
とに疲れやすい

3  
中等度

・日中時折傾  
眠傾向をみとめ  
る  
・考える・話すこ  
とにすぐに疲労  
を示す

2  
重度

・刺激がないと  
常時傾眠傾向  
である

1  
最重度

# 感情

意欲・自発性

自分から行動したり話したりできる

感情表出

年齢相応の喜怒哀楽が保たれている

制御

年齢相応に感情をおさえることができる

← 明らかな違和感なし・少ない

→ 明らかな違和感あり

\*もともとの性格を含めて評価する

生活場面で必要な、意欲や感情が保たれている

生活場面で必要な意欲や感情が損なわれている

- ・新しい活動にも意欲的である
- ・年齢相応の感情表出、感情制御が可能である

- ・慣れた活動は行うが新しい活動に意欲的でない
- ・固執・衝動・易怒・抑うつ・依存・退行傾向を軽度にとめる

- ・日常的活動の実行に、指示や促しを要する
- ・固執・衝動・易怒・抑うつ・依存・退行などの傾向をよくみとめる

- ・日常的活動を自ら開始せず、促してもやらない
- ・固執・衝動・易怒・抑うつ・依存・退行などの症状を強く認める

- ・何事にも意欲・感情がない
- ・快不快程度の反応にとどまる

5  
良好

4  
軽度

3  
中等度

2  
重度

1  
最重度

# 注意

選択・持続

対象に注意を向け持続することができる

分配・転換

注意を多方向に向け、同時に2つ以上の作業が行える

IADL

ADL

運転、料理、パソコン操作、入浴などの活動の様子から判断

用意された食事・整容、会話、運動障害が軽度の場合の歩行などの活動の様子から判断

細かい作業、複数の手順の活動が可能である

単純な作業、単一の活動しか行えない

・2つ以上の作業を同時に行うことができる  
・作業中、他の刺激に反応し、適切にもとに戻ることができる

・2つの作業を同時に行くと若干成績低下がある  
・過集中を認め、他の刺激に反応できないことがある

・1つの単純な作業を最後までやり終える  
・干渉刺激が多くなるほど気が散る  
・途中からエラーが増える

・干渉刺激があると必要な対象に注意を向けることができない  
・1つの作業をすぐに中断してしまい持続できない

・必要な刺激に注意を向けることがほとんどできない

5  
良好

4  
軽度

3  
中等度

2  
重度

1  
最重度

# 記憶

エピソード記憶

少し前、数日前のできごとをよく覚えている

展望記憶

予定や約束をよく覚えていて思い出すことができる

・生活に必要な記憶が保たれている

・生活に必要な記憶が保たれていない

・2～3日前の出来事想起が概ね正確である  
・予定や約束事を忘れることは少なく、問題とならない

・当日中の出来事は正確に思い出せるが、それ以前の記憶は不正確である  
・予定や約束事をたまに忘れてしまう

・当日中の出来事を一部思い出せるが、細部があいまいで間違っている  
・予定や約束事を忘れることが多い

・当日中の出来事想起がほとんどできない  
・予定や約束事を覚えておくことがまったくできない

・少し前の出来事を想起することができない  
・作話や記憶の混同を顕著に認める

例) 朝来客があったことを覚えているが、誰だかが間違っている

例) 直前にご飯を食べたことは覚えているが、すぐ忘れてしまう

例) 直前にご飯を食べたことを覚えていない

5  
良好

4  
軽度

3  
中等度

2  
重度

1  
最重度

# 判断

自制的判断

目先の利益に惑わされず長期的な状況を考慮して判断できる

「判断」を評価できる場面を作る、あるいはスケジュールや予定を利用する  
例) 外泊の際、したいことは何か尋ねる  
例) リハ担当者に伝えたい希望があるか尋ねる

・生活場面で適切な判断ができる

・生活場面で適切な判断ができない

・数年後の長期的な予測のために、必要な情報を考慮した判断、問題解決を行うことができる

・ある程度近い将来を見越した判断が可能だが、自分中心、あるいは他者依存傾向をみとめる

・しばしば場面依存的、近視眼的な問題解決をおこない、トラブルとなる  
・わかっていることには自分なりの判断や主張がある

・しばしば即時の感情に依存した問題解決をおこなう  
・生活上ごく部分的な判断のみ自力で行える

・しばしば物品依存的な問題解決をおこなう  
・生活上適切な判断を行うことはできない

5  
良好

4  
軽度

3  
中等度

2  
重度

1  
最重度

# 病識

障害理解	自分に生じた病気、障害、能力を理解し、できることできないことがわかっている
適応	自分の残存能力を理解し、環境に適応できる

「病識」の評価は、観察か会話で行う  
観察の例) 自分の能力を考慮した行動をしているかどうか  
会話の例) 「今お困りのことは何ですか」「～は一人でできそうですか」  
などへの返答から、自分の能力をどう感じているのかを探る

・病気・障害をよく理解し、環境に適応して生活できる

・病気・障害を理解できず、環境に適応できない

・自己の病気、障害、能力をよく認識している  
・残存能力を有効に活用し、環境の変化に自ら工夫して適応できる

・自己の病気、障害、能力を概ね理解し、深刻性の認識がある  
・残存能力活用が十分でない

・自己の病気、障害、能力の認識は大まかであり、深刻性に乏しい  
・よく整えられた環境にしか適応できない

・自己の病気、障害をごく大まかにしか認識できない  
・よく整えられた環境下にあっても周囲の援助を必要とする

・自己の病気、障害、能力を、全く認識していない  
・よく整えられた環境でも、全面的援助が必要である

5  
良好

4  
軽度

3  
中等度

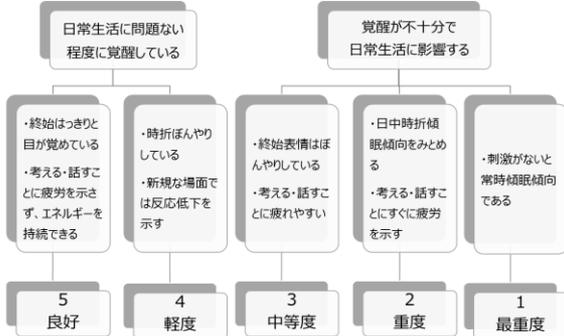
2  
重度

1  
最重度

# 認知関連行動アセスメント (CBA)

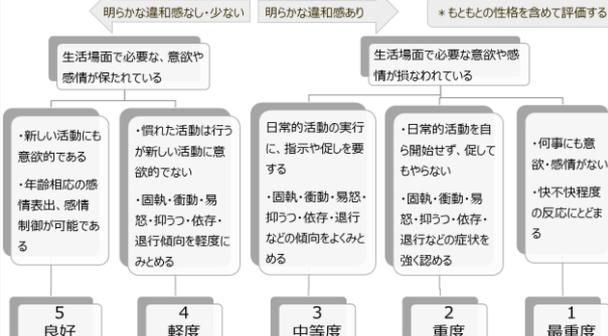
## 意識

**覚醒** 目がさめている、眠そうだったり、ぼーっとしていない  
**易疲労性** 考えることに疲れることなくエネルギーを持続できる



## 感情

**意欲・自発性** 自分から行動したり話したりできる  
**感情表出** 年齢相応の喜怒哀楽が保たれている  
**制御** 年齢相応に感情をおさえることができる



## 注意

**選択・持続** 対象に注意を向け持続することができる  
**分配・転換** 注意を多方向に向け、同時に2つ以上の作業が行える



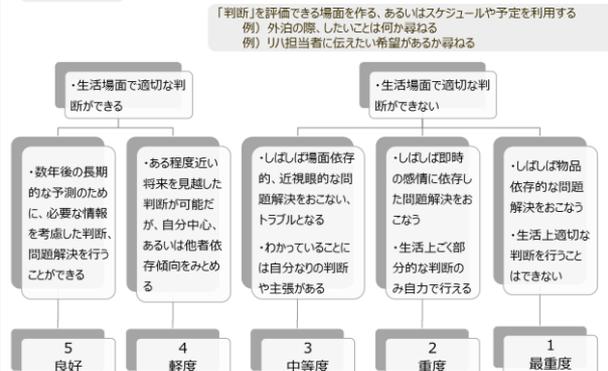
## 記憶

**エピソード記憶** 少し前、数日前のできごとをよく覚えている  
**展望記憶** 予定や約束をよく覚えていて思い出すことができる



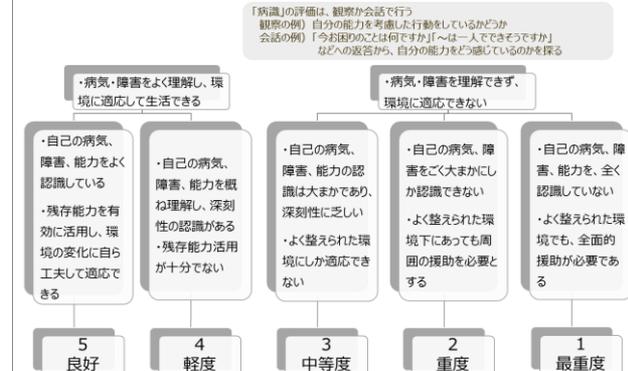
## 判断

**自制的判断** 自身の利益に感わされず長期的な状況を考慮して判断できる



## 病識

**障害理解** 自分に生じた病気、障害、能力を理解し、できることできないことがわかっていて  
**適応** 自身の残存能力を理解し、環境に適応できる



氏名 ( )  
 検査日 ( )

意識	感情	注意	記憶	判断	病識	合計